

保育環境改善のためのワークショップ

ゆうゆうざい
「遊誘財から主体的な遊びを創りだすために」

日時:11月25日(火)9:30~14:00 会場:認定こども園こどもの杜岡ノ内幼稚園

【タイムテーブル】

9:30~9:40(10分) 導入

- ・挨拶・趣旨説明 福島県こども未来局子育て支援課
- ・ワークショップ進行 谷本都栄先生(帝京大学准教授、ファシリテーター)
- ・講師自己紹介
清水一巳先生(敬愛短期大学教授)、旭 彩希先生(江戸川大学講師、グループワークサポート)
- ・「園庭マップ記入の手順」を読んでいただく ※開始前にポイントのみ説明

9:40~11:00(80分) 公開保育@園庭

- ・筆記用具を持って園庭へ移動、各自で園庭マップ記入
園児の遊ぶ様子を観察し、気づいたことや自園で参考となる環境について(遊び方、素材と空間の使い方、子ども同士や保育者との関係性など)自由に記入していただく

11:00~11:30(30分) 実施園からの報告

- ・園長より 環境改善の取り組み報告、「地域で子どもを育む」視点も含めていただく
- ・副園長または主任より 保育者の意欲的な取り組みや試行錯誤を共有いただく

11:30~12:10(40分) 昼食・休憩

12:10~13:00(50分) 「“遊誘財”とは」、グループ協議

- ・「“遊誘財”とは」 清水先生より協議の進め方を含めて情報提供
- ・各グループで園庭マップを材料に意見交換 ※清水先生、旭先生にもお入りいただく
「モノ(環境、素材)の面白さに誘われて子どもも保育者も一緒に遊びを展開し、つながり(世界)が広がる」という視点を共有して話し合いを進める。また、「すくすくスケール」の環境構成チェックリストを活用し、「地域で子どもを育む」視点も含めて保育者の援助について考える。

13:00~13:45(45分) 報告および講評

- ・グループ協議の内容について代表者が発表 各グループ3分
- ・清水先生より講評・まとめ
講評・まとめでは、グループ協議の講評に加え、各講師の専門領域におけるアドバイスや「地域で子どもを育む」視点、「すくすくスケール」の活用法についてコメントをいただく。

13:45~14:00(15分) アンケート、諸連絡

- ・こども環境学会からのアンケートご協力をお願い
- ・福島県こども未来局子育て支援課からの WS アンケートのお願い、連絡事項等